

## かるた取りのルール説明

- 必ず座ってから行ってください。
- 熱中しすぎて、子ども同士がけがをすることがないように、 まずルールをしっかり決めてから、かるた取りを始めましょう。
- ※子どもがルールを理解しやすいように、最低1回は練習を行ってから始めましょう。 状況に合わせて、必要なルールを追加してください。

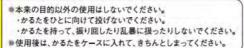
### <ルールの例>

- ・「読み札」を読み始める前に、動かないこと(手は膝の上に置いておくなど)
- ・かるたを取るときは、床に膝をついて、立ち上がらずに取ること
- ・見つけたら、「絵札」にタッチして「はい!」と声を出すこと

### 保護者の方へのお願い

- 子ども同士がけがをしないように注意深く見守ってください。
- 必要に応じてルールを守るよう、子どもに注意を喚起してください。
- かるたを取れた子どもに対しては、必ず褒めるコメントを言ってあげてください。
- 1枚も取れていない子どもがいる場合、その子どもの近くの札を読んであげてください。







お願い

# 大人から子どもへ伝えてください

この一覧をお手元に置いて、かるた遊びの補足説明としてご活用ください。

【あ】~【と】

読み札一覧 全44枚

[あ] 青信号 まずは 確認 「右 左 右」 (交通安全)	青信号になってもすぐに飛び出しては危険です。車・バイク・自転車が信号の変わるぎりぎりで猛スビードで走ってくることもあります。 車の動きと安全を確認してから歩き出しましょう。
【い】 急いで遠くへ 高台へ 津波はすごい速さだぞ! (防炎·津波)	地震の後には津波が襲ってくることがあります。揺れを感じたり、防災行政無線から大津波警報を聞いたらすぐに高台へ避難しましょう。 津波が襲ってくるまで時間がなければ、近くの丈夫な高層建物の上層階に避難しましょう。
【う】 上にも注意 揺れたときは 瓦やガラスが 降ってくる (防炎・地震)	地震が起きたら、前や下を見るだけでなく、上にも注意しましょう。住宅の瓦、ビルのガラスや壁のコンクリートなどが落ちてくることもあります。 頭をかばんなどで保護しながら丈夫そうな建物の中に避難しましょう。
[え] エレベーター <b>地震の ときは すぐ 外へ</b> (防災・地震)	エレベーターに乗っているときに地震が来たら、すべてのボタンを押して開いた階に降りて非常階段で地上に出ましょう。 そのまま乗っていたら閉じ込められてしまうことがあります。
【お】 大雨だ 近付かないで 川や 用水路 (防災・台風/洪水)	長い時間大雨が降ると川や用水路から水があふれ出ることがあります。このときの水の流れは勢いがあるので、くるぶしくらいの水の深さでも足を すくわれて流されてしまいます。大雨のときや、大雨の翌日は川や用水路、海には近づかないようにしましょう。
[か] 雷だ ゴロゴロ 鳴ったら すぐに入ろう 家の中 (防災·雷)	雷の音を聞いたら雷はそばに落ちてもおかしくないほど近くにいます。雷が落ちて人に当たると大変なことになります。 ゴロゴロ聞こえたらすぐに家や車の中に入りましょう。絶対に木の下に避難してはいけません。
[き] 気を付けて 地震は 一度で 終わらないよ (防炎·地震)	大きな地震が起きると、すぐあとにまた大きな地震が起こります。これを余震といいます。 余震はしばらく続くので、最初の地震が終わったからといって安心せずに、危険なところから離れましょう。
[く] 暗くなる 前に お家に 帰ろう (防犯)	暗くなると見通しが悪くなり交通事故に遭いやすくなります。また隠れている人にも気づきにくいので、暗い道を一人で通ると不審者に襲われる危険も あります。暗くなる前にお家に帰りましょう。暗くなってしまったら、お家の人に迎えに来てもらいましょう。
【け】 煙は 吸わない 急いで 外へ 火事の とき (防災·火事)	火事が起きたとき、怖いのは炎よりも煙です。煙を吸うと息ができなくなり苦しくて逃げることができなくなります。 火災警報器が鳴ったり、火事の知らせを受けたら、煙が逃げ道を覆う前に急いで外に避難しましょう。
[こ] 声 掛けられて 優しそうでも 付いて 行かない! (防犯)	突然誰かに声を掛けられたとき、優しそうな人に見えても、もし「一緒に探して」「親が呼んでいるよ」「お友達のゲームが落ちていたよ」など様々な言葉で 今いる場所から移動させようとしたら、信用せずに「いかない」と断りましょう。
【さ】 さあ、チェック 地震に 備えを 安全に (防災・備え)	お家の中で、地震が起きたときのことを考えて、安全なものと危険なものを探してみましょう。 洋服ダンスは揺れても倒れないようにしてあれば安全です。 逃げるときに慌てて踏んで足をケガしないようにおもちゃは遊んだらしっかり片付けましょう。
【し】 シートベルトを 締めて 楽しい ドライブに (交通安全)	車に乗ったら、どの席に座ってもシートベルトを締めましょう。車は急に止まることがあるので、シートベルトをしていないとおもわぬケガをすることがあります。 シートベルトを締めることはルールで決められているので、しっかりと守りましょう。
【す】 <b>吸わないぞ 危険がいっぱい 火山灰</b> (防炎・自然災害)	火山が噴火すると、たくさんの灰が降ります。この灰を吸うと息が苦しくなり、咳が止まらなくなることがあります。火山灰にはガラス片も入っている場合もあり 大変危険です。そのように、危険が多い灰を防ぐためマスクをしましょう。外出時は、大人の人が「いいよ」というまで勝手に外さないようにしましょう。
【せ】 積乱雲 もくもくきたら ご用心 (防炎・自然災害)	もくもくと積乱雲がでてきたら、晴れていても急に大雨が降ったり雷が鳴ったりして天気が悪くなります。突然竜巻が起きることもあります。 積乱雲を見たらすぐにお家の中や安全なところに避難しましょう。
【* 外にあるもの 家に 入れよう 台風で 飛んでいくよ (防災・備え)	台風が起こると、とても強い風が吹きます。車や列車を倒したり、自転車や看板を飛ばしたりします。 外にあるものはできるだけお家の中に入れて飛ばされないようにしましょう。台風が近づいてきたら外に出てはいけません。
[た] 助け合おう 困ったときは 近所の みんなで (防災・備え)	突然起こる災害や事故などは、自分一人の力ではどうしようもないこともあります。こんなとき、近くにいる人で力を合わせれば、 困難を乗り越えることができます。お互いさまの気持ちで協力することが大切です。
[5] ちょっとした お菓子も 役立つ 非常食 (防炎・備え)	災害のとき、怖いものを見たり、大切なものをなくしたりすることもあるので元気がなくなって食事をする気持ちもなくなります。食欲がないときでも、 ちょっとしたおやつを食べることで空腹に気づいて食事が食べられるようになります。食べることは元気の源なので少しでも食べるようにしましょう。
[つ] 辛いこと 我慢しないで 大人に 話そう (防炎·防犯)	災害や不審者などに遭ってとても怖い思いをすると、心が不安定になります。自分の気持ちを信頼できる人に話しましょう。 また、抱きしめてもらうことや、優しくしてもらうことで辛さが和らぎます。
【て】 手作りの 簡単トイレ 困ったときに 大助かり (防災)	災害が起きると、水が出なくてトイレが使えなくなることがあります。災害時に使えるトイレもお店で買えますが、お家にあるものでもトイレを作ることが できます。靴の空き箱にレジ袋をかぶせて新聞紙を敷くだけで簡単にトイレを作ることができます。
【と】 閉じ込められたら 叩こう 叫ぼう 誰か気付いて (防炎・地震)	地震の揺れでドアが壊れたり、扉の近くに置いたものが倒れて扉を塞いだりして、閉じ込められることがあります。すぐに助けてもらうために、 室内にあるものを叩いて知らせましょう。しかし、あまり大声を出し過ぎると疲れて元気がなくなってしまうので出し過ぎには注意します。

### 【な】~【わ】

日面でも 接り返し やってくるのが 洋斑だよ				
(2) 満らして、治やそう、火傷の 手当て	[な]	何度でも 繰り返し やってくるのが 津波だよ	(防炎·津波)	
おして あやて	[[:]	逃げるとき 「火事だー」と みんなに 知らせよう	(防災·火災)	
(の) 乗り物に 乗ったら 手すり つかまろう (交通安全) 「大きの担保を持ったいるからしたないのであられるからしたないのであられるが、お用しておきよしょう。 (大きの単語にあたらなが、 手りや吊尾につかまけましょう。 (大きの単語にあたらなが、 手りや吊尾につかまけましょう。 (大きの単語にあたらなが、 手りや吊尾につかまけましょう。 (おきしょう) 「大きの単語にあたります。 (大きの単語にあたらなが、 手りや吊尾につかまけましょう。 (おきしょう) 「大きの単語にあたります。 (おきしょう) 「大きの単語にあたります。 (おきしょう) 「大きの単語にあたります。 (おきしょう) 「大きの単語にあたります。 (おきしょう) 「大きを使い方を削まっているまたとないます。 (おきしょう) 「大きを使い方を削まっているまたとないます。 (おきしょう) 「大きを使い方を削まっているまたとないます。 (おきしょう) 「大きを使い方を削まっているまたとないます。 (おきしょう) 「大きを使い方を削まっているまたとないます。 (おきしょう) 「大きを使い方を削まっているまたと来の様はまたとないのです。 (まをしょう) 「大きを使い方を削まっているまたと来の様なども、(まをしょう) 「大きを使い方を削まっているまたと来の様なども、(まをしょう) 「大きを使い方を削まっているまたと来の様なども、(まをしょう) 「大きを使い方を削まっているまたと来の様なども、(まをしょう) 「大きを使い方を削まっているまたと来の様なども、(まをしょう) 「大きを使い方を削まっているまたとないないとうに乗るとしまった。 (まをしょう) 「大きを使い方を削まっているまたとないないとうに乗るしまった。 (まをしょう) 「大きをしょう) 「大きをしょう)	[ぬ]	濡らして 冷やそう 火傷の 手当て	(防災・備え)	
(は) 素わよう プロック病や極悪機 大きな揺れて 倒れるよ (防炎・地型)	[a]	寝るときは 近くに 置こう 靴 着替え	(防災・備え)	
####################################	[の]	乗り物に 乗ったら 手すり つかまろう	(交通安全)	
「お」 一部 であった。 「お」	[lat]	離れよう ブロック塀や販売機 大きな揺れで 倒れるよ	(防災·地震)	
一	[ʊ]	火遊びしない マッチ ライター 火事のもと	(防災·火災)	7 1
本棚から 本が落ちるよ 大地震	[151]	普段から 家族で話そう 避難場所	(防災・備え)	
(初外: 地震) が思うるる 入地機 (初外: 地震) 地震が起きたら本種からすぐに離れましょう。本棚には重い本を下に、軽い本を上に置くようにしましょう。 (あ外: 地震) が大きたら本種からすぐに離れましょう。大棚には重い本を上に異くないことという。 (あ外: 地震) が大きたら本機からすぐに離れましまう。本棚には重い本を上に異ないましましまう。 細胞などで皮薬を作って歩く方法もあります。 ケガをしたらかけなくなるので、歩き出す前に乾を履くようにしましょう。 細胞などで皮薬を作って歩く方法もあります。 シュだ人の火災事態できなくもありで現れてきましょう。 また人の火災事態できなくもありで関れてきましょう。 また人の火災事態できなくもので、現ませず、青竜号がチカナルたう次の青竜号はで待ちましょう。 名間のサカナカルたち 選らない (交通安全) 機能せず、青竜号がチカナルたう次の青竜号はで待ちましょう。 着母号のチカナカルは単の信号の責色と同じ意味です。 機能が重さまるのをやめましょう。 機能が重さまるのをやめましょう。 現まりままで、大きない あれ物より まず命 (防炎・津波) 文や前の日は耐くて、車・バイラ・自転車を運転している人から多いでいる人は見えにくいです。 交通会と (防炎・津波) アルボース サンド (大きない たいます。 めを守るためにはあきらめることも大切です。 関連している地がよります。 からする (ちない 忘れ物より まず命 (防炎・津波) 素が出るものには ディア・バインをとおはれたことに気がしている。 熱剤にようためにはあきらめることも大切です。 関連している人が表がよります。 めを守るためにはあきらめることも大切です。 関連しているとり 海を曲がれば ごっつんこ なしだね (交通安全) 素が出るものにまていて楽しいものです。 でも思わず手を出すと高気はとても参いので火傷します。 放板像、やかん、加速器など高気が出るものには からないように、原で似性とはまが必要です。 他にはあきらめることも大切です。 他のより 自然を表もプロによりまります。 ままま 女 東京 大きない ともい ともい ともい ともい ともい ともい ともい ともい ともい とも	[^]	部屋のドア 近くに 家具は 置かないよ	(防災・備え)	
(防炎・地震) がからしたら思すない (防炎・地震) がからしたら思すななるので、患者出す的に敵を取くようにしましょう。能にたり海 まず、本や水を使わずに食べられるものをお家に用意しておきましょう。 まだんから災害時に食べるものを食べて質れておきましょう。 またとり後、まで、んから災害時に食べるものを食べて質れておきましょう。 またんから災害時に食べるものを食べて質れておきましょう。 ままなんから災害時に食べるものを食べて質れておきましょう。 ままない 青信号 チカチカしたら 護らない (交通安全) (防炎・海波 (防炎・海波 ) 展別すると意となった。 大きない (防炎・海波 ) 展別すると意となった。 大きない (防炎・海波 ) 展別すると思しま。 ままない (防炎・海波 ) 展別すると思しま。 ままない (防炎・海波 ) 展別している途中で、大切なものをおれたことに気がしても、絶対に戻ってはいはません。 展別しているまから、ので大傷する素料の限やテープをつけるとより安全です。 展別している途中で、大切なものをおれたことに気がしても、絶対に戻ってはいけません。 展別している後から、もちくのです。 でも思うす。 からいで大傷するままが同じてららいましょう。 からいで大傷するままが同じてららいましょう。 たら、皮がるためることも大切です。 ときない おれ物より まず 命 (防炎・海波 ) 原力がとまりまと無うないと思うらのることも大切です。 展別にいる途中で、大切なものをおれたことに気がいても、絶対に戻ってはいけません。 展が出るものは見ていて楽しいものです。 でも思かず。 金をでるためにはあきらめることも大切です。 展が出るものは見ていて楽しいものです。 でも思かずを出すと無効はとても参いので大傷すます。 からいの大傷もよう、カルの大傷も大きないと思ったらかまの人に伝えて移動してもらいましょう。 からいようにしましょう。 からいまりまま。 歯がり角はたが見ます。 歯がり角はたが見にないので、ぶつかってケガをしないように 他かないようにしましょう。 カーグラーがあればあるようにしましょう。 他の人自転によまが必要です。 格いと思ったらお来の人に伝えて移動してもらいましょう。 からいもがあるからいます。 たいと思ったらお来の人にのよったのようまとないます。 からいもいまの人に会ないまったともいまった。 他を使いて動きないに、他がり着ないにあるようにしましょう。 他の人に会ないないと思いを思からないまった とき、変しないと思いを思いましまい。 他の人を関すないに、電池が切れていないのも関係できまがしたいましまり。 他の人を行るとも、他の人に会ない、他のとを行るといるととは、他のとであるから、他の人に会ない、他のとを行るといいをといるの人にもいたいないのとといととい、これままない。 これは家庭や女をに帰るための人にもいたいと思いを表がない、これは家庭や女をに帰るための人にもいまま。 これは家庭や女をに帰るための人にもいたいと思いを表がない。 「成れすとら時でしたいと思いるのが、他の人についていためらとといとがの人にもいしたいましょう。 恋にはらいこれと思いいたいます。 それは大きないとともがりのよります。 またべはでいています。 またべはでいるもたり、これは大きないとは、大りのといくないと思いないとないと思いないとない。 カード はないとないと思いないとないと思いないとないと思いないと思いないとないと思いないとないと思いないと思いないと思いないとないと思いないとないと思いないとないと思いないとないと思いないとないないとないとないとないとないとないとないないとないとないとないとない	[ほ]	本棚から 本が落ちるよ 大地震	(防災·地震)	
おご   株理しない 青信号 チカチカしたら 渡らない   京が、から次書時に食べるものを食べて積れておきましょう。   常信号のチカチカは車の信号の黄色と同じ意味です。   横野歩道を戻るのそのからしょう。   横野歩道を戻るのでからましょう。   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大き   大	[#]	窓ガラス 割れたら危険 近寄らない	(防災·地震)	
個面の日	[#]	水と食べ物 お家の人と しっかり用意	(防災・備え)	
日立つ色 後や陽の日 良く見える	[t]	無理しない 青信号 チカチカしたら 渡らない	(交通安全)	
下のない あれ物より ますの	[め]	目立つ色 夜や雨の日 良く見える	(交通安全)	
(事故防止) 触らないようにしましょう。触れないように、置く位置にも注意が必要です。怖いと思ったらお家の人に伝えて移動してもらいましょう。 かっくり 角を曲がれば ごっつんこ なしだね (交通安全) 曲がり角では人や自転車、オートバイ、車とぶつかることがあります。曲がり角は先が見にくいので、ぶつかってケガをしないように、ゆっくり曲がるようにしましょう。カーブミラーがあれば見るようにはましょう。 はましょう。 でのくり曲がるようにしましょう。 でのくり曲がるようにしましょう。 でのくり曲がるようにしましょう。 でのくり曲がるようにしましょう。 でのくり曲がるようにしましょう。 でのくり曲がるようにしましょう。 でのよき、乗り物に乗っているとき、家族と離れているとき、をているとき、どんなところでも、地震が起きたら何をしたらいいかを家族で話し合っておくと安心です。 地震が起きたら何をしたらいいかを家族で話し合っておくと安心です。 地震が起きたら何をしたらいいかを家族で話し合っておくと安心です。 いた「神震が起きて、いだ使おうとしたときに電池がない、電池が切れていたのでは役に立ちません。 電池は多めに用意すると長く使えて便利です。 自転車へといるとき、は自転車で走ってよい道路かどうかを確認しましょう。 地池は多めに用意すると長く使えて便利です。 自転車へルル・といりつい向きして、歩いている人を驚かしてはなりません。 しかしいというので、ウェル・ロールがあります。 しかしいというので、ウェル・ロールがあります。 しかいこい しゃりのりは やめようね (交通安全) 自転車は便利な乗り物です。 しかし自転車は車と同じ仲間なので、安全に乗るためのルールがあります。 しかいている人を驚かしてはなりません。 次当か方法が、電話が通じにくくなります。これは家族や友達や心配した人が同じタイミッグで電話を掛けるので混雑するからです。 早く家族と連絡をしたいときに 役立つ連絡方法の一つが没害用伝言ダイヤル 「オのサービスです。」「アル・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	[ŧ]	戻らない 忘れ物より まず命	(防災·津波)	
(交通安全) ゆっくり曲がるようにしましょう。カーブミラーがあれば見るようにしましょう。	[49]	<b>火傷する</b> もくもく湯気は あっちっち	(事故防止)	
地震が起きたら何をしたらいいかを家族で話し合っておくと安心です。   地震が起きたら何をしたらいいかを家族で話し合っておくと安心です。   地震が起きて、いざ使おうとしたときに電池がない、電池が切れていたのでは役に立ちません。   電池を使って動かすものは、電池が切れていないか日頃から確認するようにしましょう。電池は多めに用意すると長く使えて便利です。   日転車に乗るときは、自転車で走ってよい道路かどうかを確認しましょう。歩道は歩く人が優先です。	[Þ]	ゆっくり 角を曲がれば ごっつんこ なしだね	(交通安全)	
1	[4]	夜中でも 昼間でも 地震は いつでも やってくる	(防炎·地震)	
(交通安全) 人がたくさんいるときは自転車から降りて押すようにしましょう。自転車のベルをリンリン鳴らして、歩いている人を驚かしてはなりません。  (交通安全) 人がたくさんいるときは自転車から降りて押すようにしましょう。自転車のベルをリンリン鳴らして、歩いている人を驚かしてはなりません。  (交通安全) 自転車は便利な乗り物です。しかし自転車は車と同じ仲間なので、安全に乗るためのルールがあります。  二人乗りや片手運転は危険なのでルールで禁止されています。暗くなったらライトをつけることもルールで決められています。  「大乗りや片手運転は危険なのでルールで禁止されています。暗くなったらライトをつけることもルールで決められています。  「大乗りや片手運転は危険なのでルールで禁止されています。暗くなったらライトをつけることもルールで決められています。  「大大の大に関係すると使えます。からです。早く家族と連絡をしたいときに  「大大の大に 点けてもらおう (防炎・地震) マッチやライター、ろうそくは火事になることがあります。火は大人の人につけてもらいましょう。花火は子ども同士でしないで、必ず大人の人についていてもらいましょう。遊び終わった花火は水につけて火を完全に消すようにしましょう。  「大大の大に関するの本、押ってる。「株式の大・押ってる」  「株式の 学どもを連れ去ろうとする人やいたずらをする悪い人は、迷子になってお家の人とはぐれているときを待っています。外ではトイレに行くときも、買い物も大人と離れないように	[6]	ラジオ 懐中電灯 電池は あるかな あるかな	(防災・備え)	
2	[9]	リンリンリン 自転車 人ごみ 気を付けて	(交通安全)	
連絡方法 災害おきたら タイヤル 171 (防炎・備え) 役立つ連絡方法の つが災害用伝言ダイヤル 7 のサービスです。 7 にかけて音声に従って操作すると使えます。家族で試してみましょう。   そのうとくは 大人の人に 点けてもらおう (防炎・地震) マッチやライター、ろうそくは火事になることがあります。火は大人の人につけてもらいましょう。花火は子ども同士でしないで、必ず大人の人についていてもらいましょう。遊び終わった花火は水につけて火を完全に消すようにしましょう。   本人 漢字になるの本 担ってる (株式口) 子どもを連れ去ろうとする人やいたずらをする悪い人は、迷子になってお家の人とはぐれているときを待っています。外ではトイレに行くときも、買い物も大人と離れないように	[る]	ルールを守ろう ふたりのりは やめようね	(交通安全)	
(防炎・地震) 必ず大人の人についていてもらいましょう。遊び終わった花火は水につけて火を完全に消すようにしましょう。  「大人の人に 只けてもらおう (防炎・地震) 必ず大人の人についていてもらいましょう。遊び終わった花火は水につけて火を完全に消すようにしましょう。  「株式口) ・ フィス (株式口) ・ 子どもを連れ去ろうとする人やいたずらをする悪い人は、迷子になってお家の人とはぐれているときを待っています。外ではトイレに行くときも、買い物も大人と離れないように	[n]	連絡方法 災害おきたら ダイヤル 171	(防災・備え)	
	[3]	ろうそくは 大人の人に 点けてもらおう	(防災·地震)	
	[tb]	悪い人 迷子になるのを 狙ってる	(防犯)	

お願い

# 大人から子どもへ伝えてください

この一覧をお手元に置いて、かるた遊びの補足説明としてご活用ください。

#### 読み札一覧 全44枚

676	少化 見 土44枚		
[あ]	青信号 まずは 確認 「右 左 右」 (交流	通安全)	青信号になってもすぐに飛び出しては危険です。車・バイク・自転車が信号の変わるぎりぎりで猛スビードで走ってくることもあります。 車の動きと安全を確認してから歩き出しましょう。
[6]	急いで遠くへ 高台へ 津波はすごい速さだぞ! (防災	《·津波》	地震の後には津波が襲ってくることがあります。揺れを感じたり、防災行政無線から大津波警報を聞いたらすぐに高台へ避難しましょう。 津波が襲ってくるまで時間がなければ、近くの丈夫な高層建物の上層階に避難しましょう。
[5]	上にも注意 揺れたときは 瓦やガラスが 降ってくる (防炎	《·地震》	体験が起きたら、前や下を見るだけでなく、上にも注意しましょう。住宅の瓦、ビルのガラスや壁のコンクリートなどが落ちてくることもあります。 頭をかばんなどで保護しながら丈夫そうな雑物の中に避難しましょう。
[え]	エレベーター 地震の ときは すぐ 外へ (防災	(·地震)	エレベーターに乗っているときに地震が来たら、すべてのボタンを押して開いた階に降りて非常階段で地上に出ましょう。
(お)	大雨だ 近付かないで 川や 用水路 (筋炎・台風		そのまま乗っていたら閉じ込められてしまうことがあります。 長い時間大雨が降ると川や用水路から水があふれ出ることがあります。このときの水の流れは勢いがあるので、くるぶしくらいの水の深さでも足を
	All the second s		すくわれて流されてしまいます。大雨のときや、大雨の翌日は川や用水路、海には近づかないようにしましょう。
【か】	雷だ ゴロゴロ 鳴ったら すぐに入ろう 家の中 (防	5炎·雷)	雷の音を関いたら雷はそばに落ちてもおかしくないほど近くにいます。雷が落ちて人に当たると大変なことになります。 ゴロゴロ既こえたらすぐに家や車の中に入りましょう。絶対に木の下に遊難してはいけません。
[き]	気を付けて 地震は 一度で 終わらないよ (防災	(·地震)	大きな地震が起きると、すぐあとにまた大きな地震が起こります。これを余震といいます。 余震はしばらく続くので、最初の地震が終わったからといって安心せずに、危険なところから離れましょう。
[<]	暗くなる 前に お家に 帰ろう	(防犯)	暗くなると見通しが悪くなり交通事故に遭いやすくなります。また隠れている人にも気づきにくいので、暗い道を一人で通ると不審者に襲われる危険も あります。暗くなる前にお家に帰りましょう。暗くなってしまったら、お家の人に迎えに来てもらいましょう。
[13]	煙は 吸わない 急いで 外へ 火事の とき (防災	《·火事》	火事が起きたとき、怖いのは炎よりも煙です。煙を吸うと息ができなくなり苦しくて逃げることができなくなります。 火災警報器が鳴ったり、火事の知らせを受けたら、煙が逃げ逝を覆う前に急いで外に避難しましょう。
[2]	<b>声 掛けられて 優しそうでも 付いて 行かない!</b>	(防犯)	突然誰かに声を掛けられたとき、優しそうな人に見えても、もし「一緒に探して」「親が呼んでいるよ」「お友達のゲームが落ちていたよ」など様々な言葉で 今いる場所から移動させようとしたら、信用せずに「いかない」と断りましょう。
[ <b>ð</b> ]	さあ、チェック 地震に 備えを 安全に (防災	《・備え》	お家の中で、地震が起きたときのことを考えて、安全なものと危険なものを探してみましょう。洋服ダンスは揺れても倒れないようにしてあれば安全です。 逃げるとまに慌てて第んで足をケガしないようにおもちゃは遊んだらしっかり片付けましょう。
[6]	シートベルトを 締めて 楽しい ドライブに (交)	通安全)	車に乗ったら、との席に座ってもシートベルトを締めましょう。車は急に止まることがあるので、シートベルトをしていないとおもわぬケガをすることがあります。 シートベルトを締めることはルールで決められているので、しっかりと守りましょう。
[ <b>j</b> ]	吸わないぞ 危険がいっぱい 火山灰 (防災・自然・)		火山が噴火すると、たくさんの灰が降ります。この灰を吸うと息が苦しくなり、咳が止まらなくなることがあります。火山灰にはガラス片も入っている場合もあり
(±)	積乱雲 もくもくきたら ご用心 (防災・自然		大変危険です。そのように、危険が多い灰を防ぐためマスクをしましょう。外出時は、大人の人が「いいよ」というまで勝手に外さないようにしましょう。 もくもくと横乱要がでてきたら、晴れていても急に大雨が降ったり雷が鳴ったりして天気が悪くなります。突然意巻が起きることもあります。
( <del>*</del> )	外にあるもの 家に 入れよう 台風で 飛んでいくよ (防災		積 乱震を見たらすぐにお家の中や安全なところに避難しましょう。 台風が起こると、とても強い風が吹きます。車や列車を倒したり、自転車や看板を飛ばしたりします。
	MIN	- m/c/	外にあるものはできるだけお家の中に入れて飛ばされないようにしましょう。台風が近づいてきたら外に出てはいけません。
[tc]	助け合おう 困ったときは 近所の みんなで (防災	《・備え》	突然起こる災害や事故などは、自分一人の力ではどうしようもないこともあります。こんなとき、近くにいる人で力を合わせれば、 困難を乗り越えることができます。お互いさまの気持ちで協力することが大切です。
[5]	ちょっとした お菓子も 役立つ 非常食 (防災	《・備え》	災害のとき、怖いものを見たり、大切なものをなくしたりすることもあるので元気がなくなって食事をする気持ちもなくなります。食欲がないときでも、 ちょっとしたおやつを食べることで空腹に気づいて食事が食べられるようになります。食べることは元気の源なので少しでも食べるようにしましょう。
[0]	辛いこと 我慢しないで 大人に 話そう (防災	《·防犯》	災害や不審者などに遭ってとても怖い思いをすると、心が不安定になります。自分の気持ちを信頼できる人に断しましょう。 また、抱きしめてもらうことや、優しくしてもらうことで辛さが和らぎます。
[T]	手作りの 簡単トイレ 困ったときに 大助かり	(防災)	災害が起きると、水が出なくてトイレが使えなくなることがあります。災害時に使えるトイレもお店で買えますが、お家にあるものでもトイレを作ることが できます。靴の空き箱にレジ袋をかぶせて新聞紙を敷くだけで簡単にトイレを作ることができます。
[2]	閉じ込められたら 叩こう 叫ぼう 誰か気付いて (防災	《·地震》	地震の揺れでドアが壊れたり、扉の近くに置いたものが倒れて扉を塞いだりして、閉じ込められることがあります。 すぐに助けてもらうために、 室内にあるものを叩いて知らせましょう。 しかし、あまり大声を出し過ぎると疲れて元気がなくなってしまうので出し過ぎには注意します。
[な]	何度でも 繰り返し やってくるのが 津波だよ (防災	《·津波》	津波がきた後、お家の様子を見に行ってはなりません。津波は繰り返しやってきます。最初の津波より次の津波のほうが大きいこともあります。 勝手に判断しないで、津波警報が解除されるまで安全なところにいましょう。
[(=)	逃げるとき 「火事だー」と みんなに 知らせよう (防災	(炎火・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション	放子に行動しない、(本版画板)の体部ですのは、文文主なこうにつなりよう。 火事が起さて遂げるときには、近所の人が遂げ遅れないように、「火事だー」と大声で知らせます。 近くに大人がいたら [19 番酒板をしてもらうようにお願いしましょう。
[82]	濡らして 冷やそう 火傷の 手当て (防災	《・備え》	ないに入入がかた。日日田田和本としてもラブようた日本間としましょう。 熱いものを触って火傷したら流れているお水で冷やすのが一番です。地震が起きて水がでないときは、きれいな布をベットボトルのお水で濡らし、 氷が解けずにあれば楽に入れて冷やします。冷やしながらすぐに病院へいきましょう。
[ね]	寝るときは 近くに 置こう 靴 着替え (防災	(・備え)	地震は寝ているときに起きるかもしれません。すぐに避難できるように枕元に着替えを置いておきましょう。
[0]	乗り物に 乗ったら 手すり つかまろう (交通	通安全)	停電して暗いときのために懐中電灯と、ガラスが割れているかもしれないので足を守るために靴も用意しておきましょう。 パスや列車に乗っているとき、急にブレーキがかかることがあります。体が飛ばされないように、パスや列車に乗ったら必ず、
			手すりや吊革につかまりましょう。腕の力で体を支えられないうちは空いている席があったら座りましょう。 重くて丈夫そうなブロック塀や阪売機は、大きな揺れで倒れることもあります。
[は]		(·地震)	揺れに強くしているブロック切や販売機もありますが、念のため地震が起きたら離れるようにしましょう。 火は温めたり、食事を作ったりできるので、とても便利なものです。
[ʊ]		(炎火・・	けれども使い方を間違ってしまうと火車が起きてしまう怖いものでもあります。大人のいないところで隠れて遊んではいけません。 家族と離れているときに災害が起きたときのために、どこが安全なのかを話し合っておきましょう。
[151]	普段から 家族で話そう 避難場所 (防災	(・備え)	避難するときはどこの避難所に行くのかを決めておくと早く家族と会えます。地震、津波、火事のときでは避難場所がちがうこともあります。
[^]	部屋のドア 近くに 家具は 置かないよ (防災	《・備え》	地震の揺れて家具が倒れてドアが開かなくなることもあります。閉じ込められて逃げられなくなると不安ですね。 こんなことにならないように家具はドアの近くに置かないようにしましょう。
[ほ] -	本棚から 本が落ちるよ 大地震 (防災	《·地震》	地震で本がばらばらと落ちると、痛いだけではなくて大きなケガやもっと大変なことになることもあります。 地震が起きたら本樹からすぐに離れましょう。本棚には重い本を下に、軽い本を上に置くようにしましょう。
[#]	窓ガラス 割れたら危険 近寄らない (防災	《·地震》	災害で避難するときも、割れたガラスの破片などには注意が必要です。災害発生に慌てて動いて足をガラスの破片などでケガすることがあります。 ケガをしたら歩けなくなるので、歩き出す前に靴を履くようにしましょう。靴にたどり着くまで、毛布や新聞紙、雑誌などで足場を作って歩く方法もあります。
[&]	水と食べ物 お家の人と しっかり用意 (防災	《・備え》	災害時には、水や電気、ガスが止まって食事が作れなくなります。水や火を使わずに食べられるものをお家に用意しておきましょう。 ふだんから災害時に食べるものを食べて慣れておきましょう。
[ <b>&amp;</b> ]	無理しない 青信号 チカチカしたら 渡らない (交流	通安全)	無理セず、青信号がチカチカしたら次の青信号まで待ちましょう。青信号のチカチカは車の信号の黄色と同じ意味です。 横断歩道を渡るのをやめましょう。横断歩道を渡っている途中ならすぐに渡りきりましょう。
[හ]	目立つ色 夜や雨の日 良く見える (交通	通安全)	夜や雨の日は暗くて、草・バイク・自転車を運転している人から歩いている人は見えにくいです。 交通事故に遭わないためにも、外出するときは目立つ色の服を選びましょう。ライトで反射する素材の服やテープをつけるとより安全です。
[ŧ]	戻らない 忘れ物より まず命 (防災	《·津波》	遊離している途中で、大切なものを忘れたことに気づいても、絶対に戻ってはいけません。 戻ると危険なことに巻き込まれて大変なことになります。命を守るためにはあきらめることも大切です。
[49]	火傷する もくもく湯気は あっちっち (事き	故防止)	蒸気が出るものは見ていて楽しいものです。でも思わず手を出すと蒸気はとても熱いので火傷します。炊飯器、やかん、加湿器など蒸気が出るものには
[\psi]		通安全)	触らないようにしましょう。触れないように、置く位置にも注意が必要です。怖いと思ったらお家の人に伝えて移動してもらいましょう。 曲がり角では人や自転車、オートバイ、車とぶつかることがあります。曲がり角は先が見にくいので、ぶつかってケガをしないように、
[#]	夜中でも 昼間でも 地震は いつでも やってくる (防災		ゆっくり曲がるようにしましょう。カーブミラーがあれば見るようにしましょう。 地震はいつ起きるかわかりません。外にいるとき、乗り物に乗っているとき、家族と離れているとき、寝ているとき、どんなところでも、
			地震が起きたら何をしたらいいかを家族で話し合っておくと安心です。 地震が起きて、いざ使おうとしたときに電池がない、電池が切れていたのでは役に立ちません。
(6)		《・備え》	電池を使って動かすものは、電池が切れていないか日頃から確認するようにしましょう。電池は多めに用意すると長く使えて使利です。 自転車に乗るときは、自転車で走ってよい道路かどうかを確認しましょう。歩道は歩く人が優先です。
[9]	リンリンリン 自転車 人ごみ 気を付けて (交派	通安全)	人がたくさんいるときは自転車から降りて押すようにしましょう。自転車のベルをリンリン鳴らして、歩いている人を驚かしてはなりません。
[8]	ルールを守ろう ふたりのりは やめようね (交流	通安全)	自転車は便利な乗り物です。しかし自転車は車と同じ仲間なので、安全に乗るためのルールがあります。 二人乗りや片手運転は危険なのでルールで禁止されています。暗くなったらライトをつけることもルールで決められています。
[n]	連絡方法 <b>災害おきたら ダイヤル 171</b> (防災	(・備え)	災害が起きたら、電話が通じにくくなります。これは家族や友達を心配した人が同じタイミングで電話を掛けるので混雑するからです。早く家族と連絡をしたいときに 役立つ連絡方法の【つが災害用伝言ダイヤル [7] のサービスです。 [7] にかけて音声に従って操作すると使えます。家族で試してみましょう。
[3]	ろうそくは 大人の人に 点けてもらおう (防災	《·地震》	マッチやライター、ろうそくは火事になることがあります。火は大人の人につけてもらいましょう。花火は子ども同士でしないで、 必ず大人の人についていてもらいましょう。遊び終わった花火は水につけて火を完全に消すようにしましょう。
[tb]	悪い人 迷子になるのを 狙ってる	(防犯)	子どもを連れ去ろうとする人やいたずらをする悪い人は、迷子になってお家の人とはぐれているときを待っています。外ではトイレに行くときも、買い物も大人と難れないように しましょう。迷子になったら動かずに大声でお家の人の名前を呼びましょう。 周りの人が迷子に気づいたら、お店の人を呼んできてくださいとお願いしましょう。



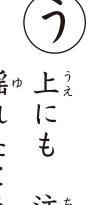
地じエネ 震ししれ

外飞

(防災·地震)



降ぶ瓦が揺ゅ上えっかれに ガガラスすは 注が意が





(防災·津波)



青信号

(交通安全)





【あ】~【え】

帰れお 暗ら 家か なる前まれ 12

終お地じ気き 震しを は 付っ い一方け 度とて

(防災·地震)





川か近な大お や付っ雨あ かだ 用すな 水がい 路っで







(防犯)





ドビ締レシレ ーライブに 楽したの

(交通安全)

安が地でした。 さあ 備えを ツっ

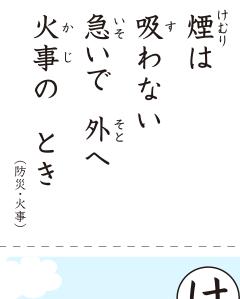


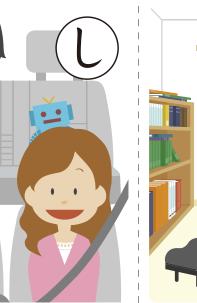


付っ優さ声え いて 行かない-掛けられて

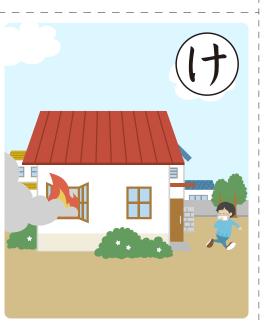
(防犯)













近る困る助な 所じっけ たとき



飛と台た家は外を 風きに  $\lambda$ "

(防災・備え)





積せき 用さんも 乱らん 雲かん



火が危き吸す 山が険けわ 灰ばが











誰だ叩た閉と 叫ばう



大な困な簡か手で 助なっ単な作べ た イぃの

(防災)





大き我が辛ら人な慢ない 話<sup>は</sup>い そ う

(防災·防犯)



役々

立だた









靴っ近な寝ね 着きに替が置

(防災・備え)

置っはこう

(防災・備え)



火ゃ冷v 濡ぬ 傷どや ら し 手でう



逃げるとき 「火事だー」



(防災・津波)

繰く何なり 度と

返れで







避び家か普ぶ 難な族で段だん 場ばで 所しょ

話そう

火かマま火ひ ツっ遊ま チャブバ

(防災・火災)

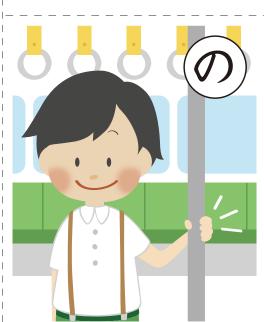
倒れるよ ブロッ 離な

手で乗の乗の まろう 物が











お 水が 家すと かの食た 人なべ 用なり物の

意い

(防災・備え)

近か割り窓と 寄ょれがが らたラら ならスす

危き

険けん

(防災・地震)

大お本は本は 地じが棚な 震し 落ちる



置が近が部へ

く 屋\* 家ゕドビ 具ぐアぉ は

(防災・備え)











あ

(事故防止)



火傷する

湯の気げ は





忘り戻せ れ

(防災·津波)





良は夜る目め や立だ 見<sup>ス</sup> 雨<sup>ぁ</sup> 色<sup>い</sup>え え の る

日ひ





渡たチャ青まお ら カか信んごう な チャ号う 力が (交通安全)





こくみん共済〈全労済〉

転んンん ンん

気き人と自じリリ 車しリッ

(交通安全)

懐中電灯かいちゅうでんとう あるかな





は

角を 地に昼る夜よ ゆ ごっつんこ 震し間ま中なか 曲 が れば

(交通安全)







狙なな 迷い悪る る子ごい に人と 0 を

人では 12

(防災·地震)



ダだ災さ連れ イい害が絡ら お 方は ルるき法う



ί, た は

(交通安全)



(防犯)





